

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	内科学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期	前期	教室名	902教室
担 当 教 員	雨 田 真					
実務経験と その関連資格	理学療法士として総合病院で急性期・回復期病棟に4年間勤務 主に整形外科疾患・内部障害・脳血管疾患領域における急性期から回復期までのリハビリテーション、がん終末期におけるリハビリテーションに従事。現在は生活期での理学療法に従事しています。また2023年の日本リハビリテーション医学会における学会発表をはじめ、これまでに4つの演題を発表いたしました。 資格・活動:がんリハビリテーション研修会修了。日本理学療法士協会会員。本校で年20～30回以上の国家試験対策講義を実施					
《授業科目における学習内容》						
呼吸・循環器の解剖生理学を復習し、疾患について学ぶ。 各疾患の病態から治療法等の基本的な考え方について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席:15/15、課題提出:25/25、小テスト:60/60(全2回)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病気がみえる vol.2 循環器 メディックメディア 第5版 病気がみえる vol.4 呼吸器 メディックメディア 第4版 推奨 授業中に配布された重要ポイントをまとめたプリントについてよく復習して、理解を深めてください。						
《授業外における学習方法》						
内科学Ⅰでは、理学療法分野以外の医師や看護師の情報も多く言葉の理解が難しいことがあります。予め自分のわからない用語に関して pick upし、調べるもしくは質問できるように準備をしておいてください。						
《履修に当たっての留意点》						
内部障害で理学療法を施行する機会が増えており、理学療法士も総論として内科の知識が必要となってきます。 疾患から、またデータから様々なことを読み取れる力を身に付けてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	呼吸器の解剖を理解する。		教科書、配布資料	呼吸器疾患に興味をもつ	
	各コマにおける授業予定	呼吸器の解剖について学ぶ。				
第2回	授業を通じての到達目標	呼吸器の生理を理解する。		教科書、配布資料	第1回目の復習	
	各コマにおける授業予定	呼吸器の生理について学ぶ。				
第3回	授業を通じての到達目標	呼吸機能検査と換気障害を理解する。		教科書、配布資料	第2回目の復習	
	各コマにおける授業予定	呼吸機能検査と換気障害について学ぶ。				
第4回	授業を通じての到達目標	呼吸不全を理解する。		教科書、配布資料	第3回目の復習	
	各コマにおける授業予定	呼吸不全について学ぶ。				
第5回	授業を通じての到達目標	慢性閉塞性肺疾患を理解する。		教科書、配布資料	第4回目の復習	
	各コマにおける授業予定	慢性閉塞性肺疾患について学ぶ。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	間質性肺炎を理解する。	教科書、配布資料	第5回目の復習
	各コマにおける授業予定	間質性肺炎について学ぶ。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	第1～6回の復習と小テスト	小テスト	第1～6回の復習
	各コマにおける授業予定	第1～6回の復習と小テスト		
第 8 回	授業を通じての到達目標	循環器の解剖を理解する。	教科書、配布資料	循環器疾患に興味をもつ
	各コマにおける授業予定	循環器の解剖について学ぶ。		
第 9 回	授業を通じての到達目標	循環器の生理を理解する。	教科書、配布資料	第8回目の復習
	各コマにおける授業予定	循環器の生理について学ぶ。		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	心不全の病態と症状を理解する。	教科書、配布資料	第9回目の復習
	各コマにおける授業予定	心不全の病態と症状について学ぶ。		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	心不全の検査と治療を理解する。	教科書、配布資料	第10回目の復習
	各コマにおける授業予定	心不全の検査と治療について学ぶ。		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患を理解する。	教科書、配布資料	第11回目の復習
	各コマにおける授業予定	虚血性心疾患について学ぶ。		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	急性心筋梗塞を理解する。	教科書、配布資料	第12回目の復習
	各コマにおける授業予定	急性心筋梗塞について学ぶ。		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	心臓弁膜症・閉塞性動脈硬化症を理解する。	教科書、配布資料	第13回目の復習
	各コマにおける授業予定	心臓弁膜症・閉塞性動脈硬化症について学ぶ。		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	第8～14回の復習と小テスト	小テスト	第8～14回の復習
	各コマにおける授業予定	第8～14回の復習と小テスト		